



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し ヨーロッパセット 小学校向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。
※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

1. DOOR : 208 の国と地域がわかる国際理解地図 2 (ヨーロッパ)

地図情報センター 2018 年

カラフルなイラスト地図で各国への理解を促す全 5 巻のシリーズ。人口などの基本データや国旗、国際オリンピック委員会が定めた国名コード、挨拶の言葉などを紹介。多様なイラストと地図でその国の概要を掴むことができる。第 2 巻の本書では、ヨーロッパ地域を掲載する。巻末に索引あり。

2. 写真で学ぶ世界遺産 1 (ヨーロッパ)

平川陽一 編著
汐文社 2014 年

世界遺産を写真付きで紹介する全 3 巻のシリーズ。第 1 巻の本書では、ヨーロッパ各地の世界遺産のうち 60 件を取り上げている。1 件につき 1~2 ページを使い、概要や歴史的背景を解説する。巻末には、ヨーロッパエリアの世界遺産を国別に表にして掲載している。巻末に用語集あり。

3. 世界遺産になった食文化 2 (健康的な食生活地中海料理)

服部津貴子 監修, こどもくらぶ 編
WAVE 出版 2013 年

世界遺産に登録された食文化を紹介するシリーズ。本書では地中海沿岸地方の伝統的な食を取り上げ、オリーブやトマト等の代表的な食材について解説する。ギリシャ、イタリア、スペイン各国の食生活の紹介や、地中海料理のレシピも掲載されている。巻末索引あり。

4. ヨーロッパお菓子物語

今田美奈子 文, 青山みるく 絵
朝日学生新聞社 2012 年

ヨーロッパの 26 か国のお菓子を、国ごとに 1 種類ずつ紹介する。各国のお菓子の全体的特徴にも言及している。簡単に作れるように、レシピは扱いやすい材料を選んで掲載している。巻末には取り上げたお菓子の産地を示す地図があり、国名と国の位置、首都の位置を確認できる。

5. ヨーロッパの民族衣装 : 衣装ビジュアル資料

芳賀日向 著
グラフィック社 2013 年

ヨーロッパの 26 か国の民族衣装や伝統的な衣装を写真で紹介するビジュアル資料。一つの国の中でも地域ごとに特徴的な衣装を掲載している。巻頭に地図あり。

6. ふしぎ？なるほど！西洋美術たんけん：子どものための西洋美術「超」入門：名画のヒミツが、見えてくる！ 第2巻（人間を描くぞ！美の巨匠たち〈15～19世紀〉）

池上英洋 監修

日本図書センター 2015年

各時代の主要な美術作品を大きなカラー図版で紹介し、作者や見どころを解説するシリーズ。第2巻の本書では、15～19世紀の作品を取り上げる。対象となる美術作品は絵画、彫刻、工芸、壁画で、最も多いのは絵画。古典期から20世紀までの時代別様式一覧が各ページ下部にあり、本文で取り上げている作品がどの時期・様式に属しているかを示している。巻末に索引、参考文献、作品のデータをまとめた一覧表あり。

7. ヨーロッパとロシアの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 5）

富浪貴志 監修、こどもくらぶ 編

ポプラ社 2003年

ヨーロッパを「ケルト」、「南部」、「中部・東部」、「北部」、「ロシア」の5つの地域に分けて、風土や歴史、民族的な特色などもまじえ、各地の民族音楽を概説した本。歌や楽譜のほか、各地域の音楽に欠かせない民族楽器、その音楽に合わせた踊りや芸術まで幅広く紹介している。鮮やかな民族衣装に身を包み、踊りや歌を披露する人々の写真も豊富に掲載されている。

8. 世界のともだち 01（ルーマニア）

長倉洋海 写真・文

偕成社 2013年

9. 世界のともだち 33（オランダ）

浅田政志 写真・文

偕成社 2016年

世界の子どもたちの生活を紹介する写真絵本シリーズ。1冊ごとに1人の子どもに密着し、家庭、学校、地域などさまざまな側面からその国や都市での暮らしを伝える。巻末には、地理・歴史のデータを掲載する。第1巻はルーマニア編で、ネグリア村に住む12歳の少女アナ・マリアの生活を紹介する。第33巻はオランダ編で、ユトレヒト郊外の町ザイストに住む9歳の少女サシャの生活を紹介する。

10. ギリシアの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 8）

岩崎務 監修・著

小峰書店 2004年

11. 北ヨーロッパの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 13）

森信嘉 監修・著

小峰書店 2005年

世界の文字と言葉を紹介するシリーズ。

第8巻はギリシア編で、ギリシア語以外にも、数学や科学などの学問で使われているギリシア文字の歴史が詳しく説明されている。

第13巻は北欧編で、「北欧5か国」のうち、語系の異なるフィンランド語を除いたノルウェー・アイスランド・スウェーデン・デンマークの4か国の言語を取り上げている。この地域でかつて使われていた「ルーン文字」という古代文字で、自分の名前を書いてみようというコーナーや、4か国語の簡単なあいさつ文など、北欧の文字や言葉に楽しく触れることができる。

12. さがし絵で発見!世界の国ぐに 17 (イタリア)

多田孝志 監修, 木矢恵梨子 著, こどもくらぶ 編
あすなろ書房 2014 年

1 冊につき 1 か国の地理・歴史・産業・文化等を紹介するシリーズ。巻頭には、紹介する国に関するさがし絵クイズが付く。第 17 巻の本書では、イタリアを取り上げ、食文化や芸術のほか、ローマ市に位置するヴァチカン市国についても紹介している。巻末に索引あり。

13. ねむりひめ

グリム 著, フェリクス・ホフマン 絵, せたていじ 訳
福音館書店 1963 年

「つむ」に刺されると、100 年の間眠り続ける呪いを受けたお姫様の物語。グリム童話の有名な昔話を、スイスの画家ホフマンが描く。大型絵本。

14. ねっこぼっこ

ジビュレ・フォン・オルファース 作, 秦理絵子 訳
平凡社 2005 年

ねっこぼっこ(直訳すると「根っこの子どもたち」)は、春の訪れと共に土の中で目覚め、色とりどりの花の服を身にまとい、外の世界へと出て行く。輝かしい夏を謳歌し、やがて木枯らしが吹き始めると、大地の母さんのふところに戻り、再び春が廻り来るまでの間、土の中で安らかに眠る。1906 年の出版以来、1 世紀以上に渡り子どもたちから愛されているドイツの古典絵本。

15. 大雪

ゼリーナ・ヘンツ 文, アロワ・カリジェ 絵, 生野幸吉 訳
岩波書店 1992 年

ウルスリとフルリーナの兄妹は、そり大会の準備を行う。フルリーナは、材料を手に入れるため、山のふもとの村へ。帰りが遅いのを心配したウルスリが迎えに行き、2 人は激しい雪を伴うあらしを切り抜け、なんとか帰宅する。スイスの山村を舞台に、子どもたちの生活を生き生きと描く絵本。スイスの豊かな自然を表現しながら、子どもたちの遊び、習慣などを伝えるものとなっている。

16. まっくろネリノ

ヘルガ・ガルラー さく, やがわすみこ やく
偕成社 1973 年

まっくろネリノは、きれいな色の兄弟に仲間外れにされていつもひとりぼっちで、悲しみを抱えていた。そんなある日、兄弟が行方不明になるが、ネリノがまっくろであるという性質を活かして解決する。オーストリアのデザイナー、ガルラーによる創作絵本。

17. りんごのき

エドアルド・ペチシカ 文, うちだりさこ やく, ヘレナ・ズマトリーコバー え
福音館書店 1972 年

小さな男の子マルチンが庭のりんごの木に実がなるのを楽しみに、世話をしながら 1 年間を過ごす様子を描く。色調の柔らかい絵で描かれた、季節感のあるチェコの創作絵本。

18. げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作・画, 瀬田貞二 訳
福音館書店 1972 年

フランス・パリの古い寄宿舎に住む 12 人の女の子のなかで、一番小さなマドレーヌはとてもお転婆で、ねずみも怖くないし、スキーもスケートも得意。ある晩、そんなマドレーヌに異変が起こる。アメリカの作家ベームルマンズによる創作絵本で、背景にたくさんのパリの名所が描かれている。

19. しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ さく, うちだりさこ やく, ボフダン・ブテンコ え
福音館書店 1969 年

水の性質を知ることができる科学絵本。水滴の「しずく」が冒険の旅をする話となっており、子どもたちが親しみやすく、言葉のリズムも良い。ポーランドの絵本。

20. 黒い島のひみつ（タンタンの冒険旅行）

エルジェ 作, 川口恵子 訳
福音館書店 1983 年

少年記者タンタンが愛犬スノーウィと共に国を越えて駆け巡る「タンタンの冒険旅行」シリーズ日本語版第 1 巻。本書の舞台はスコットランド。ニセ札偽造団を追うタンタンはスコットランド沖の黒い島へと向かう。1929 年にベルギーの新聞記者エルジェによって生み出されたタンタンは、フランス語圏であるベルギー、フランスという枠をこえ、50 以上の言語に翻訳され、世界の子どもたちに愛され続けている。

21. 三つのオレンジ：ミルクのように白く血のように赤い娘

剣持弘子 文, 小西英子 絵
偕成社 1999 年

ある王子が食事中に、指に傷をつけてしまう。白いチーズについた赤い血がとてもきれいに見えた王子は、そのようにきれいな娘を求めて旅に出る。王子の旅と、その後を描くイタリアの昔話。仮面劇や歌劇としても有名だが、この絵本の話は、トスカナ地方で語られたものがベースになっている。

22. メルヘン・アルファベット：ロシア昔話

タチヤーナ・マーヴリナ 作, 田中友子 訳・文
ネット武蔵野 2005 年

各ページに、ロシア語で使われるキリル文字が 1 つずつ大きく描かれ、その内外に、ロシアの昔話の登場人物や場面が色鮮やかに描きこまれた、いわゆる ABC 絵本のキリル文字版。巻末には各昔話のあらすじが付されている。本書は高度な印刷技術を持つモスクワ造幣局で印刷された原本を忠実に再現している。キリル文字に親しめるだけでなく、ロシアの豊かな文化に興味を持つきっかけともなる 1 冊。

23. しずかなおはなし

サムイル・マルシャーク 文, ウラジミール・レーベデフ 絵, うちだりさこ 訳
福音館書店 1963 年

夜、散歩に出かけたハリネズミの家族がオオカミに遭遇する。ハリネズミたちは、体を丸めて針を逆立て、やりすごし、無事家に帰りつく。ソ連時代のロシアの子どもの本を牽引したマルシャークとレーベデフによる絵本。

24. てぶくろ

エフゲーニ・M. ラチョフ 絵, うちだりさこ 訳
福音館書店 1965 年

おじいさんが落としていった片方だけの手袋に、小さなねずみからはじまり、最後は大きな熊までもが入り、住みかとしようとする。次々と現れる動物たちや、手袋が少しずつ住み心地よいように工夫されていく様子が、温もりのある絵で描かれる。1965 年に日本で翻訳出版されて以来、多くの子どもたちから愛され続けているウクライナの昔話絵本。

25. ゆきとトナカイのうた

ボディル・ハグブリンク 作・絵, 山内清子 訳
ポプラ社 2001 年

スカンジナビア半島からコラ半島にかけての北極圏の一角をラップランドと呼び、ここにはサーメ語を使う人々であるサーメ（サーミ）が住んでいる。この地域に住むサーメの主人公マリット・インガの生活を通して、トナカイを育てその群れと行動を共にするサーメの伝統的な暮らしの様子を知ることができる。ノルウェーの絵本。

26. バレエをおどりたかった馬

H. ストルテンベルグ 作, 菱木晃子 訳, さとうあや 絵
福音館書店 1999 年

田舎で暮らしていた馬は、生まれてはじめて見たバレエにすっかり夢中になり、町のバレエ学校に入ることを決める。馬は、心優しい大家さんやクラスの女の子たちと交流しながら、練習を重ね、成長していく。ノルウェーの物語。

27. ピーターラビットのおはなし 新装版（ピーターラビットの絵本 1）

ビアトリクス・ポター さく・え, いしいももこ やく
福音館書店 2002 年

28. The tale of Peter Rabbit（英語）

Beatrix Potter
F. Warne 1995 年

いたずらっこのうさぎのピーターは、マグレガーさんの畑にもぐりこむも、マグレガーさんに見つかってしまい、命からがら脱出する。イギリスで出版されてから 100 年以上を経た今も、世界中の子どもたちを魅了している絵本。

29. ラチとらいおん

マレーク・ベロニカ 文・絵, とくながやすもと 訳
福音館書店 1965 年

30. Laci es az oroszlán（ハンガリー語）

Marek Veronika
Mora Könyvkiadó 2003 年

弱虫な男の子ラチのところに、ある日小さな赤いらいおんが現れる。らいおんに励まされながら、ラチは次第に強い男の子になっていくが、やがてらいおんがラチのもとを去る日がやってくる。ハンガリーの創作絵本。

31. ぞうのババール

ジャン・ド・ブリュノフ さく、やがわすみこ やく
評論社 1988 年

32. Histoire de Babar, le petit elephant (フランス語)

Jean de Brunhoff
Hachette 2006 年

ぞうのババールは、お母さんを亡くし、狩人に追われて、やっとのことで町にたどり着く。そこで一人の優しいおばあさんと出会い、洋服を着たり、車の運転を覚えたりと、人間のような生活を始める。シリーズで出版されており、息子のロラン・ド・ブリュノフが書き継いだ続編もある。フランスの創作絵本。

33. うんがにおちたうし

フィリス・クラシロフスキー 作、ピーター・スパイアー 絵、みなもとちか 訳
ポプラ社 1967 年

34. De koe die in het water viel (オランダ語)

Van Holkema & Warendorf 1995 年

オランダの平らな畑地で退屈に暮らしていた牝牛ヘンドリカは、不注意で運河に落ち、様々な経験をする。最後には元通りの生活に戻るが、運河を流された経験のおかげで以前の生活にも退屈さを感じなくなる。カラーページと白黒ページが交互にあらわれる。オランダ語版と日本語版は、絵の全体像に大きな違いはないが、線画の細部や色調は異なる。

35. さびしがりのクニット

トーベ・ヤンソン 作・絵、渡部翠 訳
講談社 1991 年

36. Kuka lohduttaisi nytyä? (フィンランド語)

Jansson Tove
WSOY 1997 年

37. Vem ska trosta knyttet? (スウェーデン語)

Jansson Tove
Schildts 1999 年

小さな家に住む小さなトロールのクニットは、ひとりぼっちでさびしくて家を飛び出す。海辺でびんに入った手紙を拾ったクニットは、送り主のスクルットをなぐさめに行くため、勇気を出して冒険をする。フィンランドの作家トーベ・ヤンソンが書いたムーミンのシリーズは世界中で読まれている。本書はムーミン絵本の2冊目。

38. ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ さく・え、おのでらゆりこ やく
福音館書店 1976 年

39. Pelles nya kläder (スウェーデン語)

Beskow Elsa
Bonnier Carlsen 2001 年

ペレは、羊の毛を刈り取り、それで新しく自分の服を作ることにする。ペレが様々なお手伝いをするかわりに、刈り取った毛を梳いてもらったり、梳いてもらった毛を糸に紡いでもらったり、その糸を布に織ってもらったりと、羊の毛はだんだんと服の形に近づいていく。昔ながらの丁寧な手仕事の様子が、暖かみのある絵で描かれる。スウェーデンの古典的絵本。

40. せかいにパーレただひとり

イエンス・シースゴール さく, アルネ・ウンガーマン え, やまのべいすず やく
偕成社 1978 年

41. Palle alene i verden (デンマーク語)

Sigsgaard Jens, Ungermann Arne
Gyldendal 1942 年

ある朝目を覚ますと、パーレは世界でただ 1 人になっていた。お父さんもお母さんも、町の人もない。パーレはお店のお菓子を食べたり、バスを運転したり、やりたい放題。しかし、だんだん寂しくなってくる。世界中で読まれている、デンマークの絵本。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>